

## ふれあい交流体験活動

### 下関市立王喜小学校

#### 学校の概要

##### ① 学校規模

- 学級数：6学級
- 児童数：166人
- 教職員数：14人
- 活動の対象学年：5年生・32人

##### ② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 本校の校区は下関市の東部の海岸線に沿い、西側に木屋川が流れ、北東にゆるやかな中国山地、南に広い王喜開作があり、豊かな自然環境に恵まれた地域である。
- 校区の中央を東西に走るJR山陽本線、北側にJR山陽新幹線、学校のすぐ前を通る県道33号線と南側を東西に通る国道2号線が交差し、非常に交通量の多い通過地点となっている。

##### ③連絡先

- 〒750-1114  
下関市王喜本町二丁目12番30号
- 電話：083-282-0332
- FAX：083-282-1940
- 電子メール：[ouki-sho@edu.city.shimonoseki.yamaguchi.jp](mailto:ouki-sho@edu.city.shimonoseki.yamaguchi.jp)

#### 体験活動の概要

##### ① 活動のねらい

- 自然の中での様々な体験活動を通して豊かな心と創造性を育み、集団での生活を通して自立心や社会性を育む。
- 他校との交流活動を通して自立心や社会性を育む。
- 楽器アンクルンの演奏や竹細工活動を通して、異学年の子や異年齢の方とふれ合い、豊かな心やふるさと王喜を愛する心を醸成する。

##### ② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 集団宿泊学習  
(理科4時間、体育1時間、家庭5時間、音楽1時間、社会1時間、総合的な学習の時間2時間、特別活動4時間)
- アンクルン演奏活動  
(音楽7時間、社会1時間、総合的な学習の時間7時間、特別活動5時間)
- 竹細工活動  
(総合的な学習の時間2時間)

#### 1 活動に関する学校の全体計画

##### ○ 活動のねらい

雄大な秋吉台の自然の中での様々な体験活動を通して、豊かな心と創造性を育み、集団での生活や他校との交流活動を通して自立心や社会性を育む。

ふるさと王喜産の竹で作製した楽器アンクルンの演奏や竹の文化を継承する「かぐや姫の里づくり」の地域の方との竹細工活動を通して、異学年の子や異年齢の方とふれあい、豊かな心やふるさと王喜を愛する心を醸成する。

## ○ 全体の指導計画

### ① 集団宿泊学習（秋吉台少年自然の家）

- 6月20日 ・オリエンテーション (特別活動1時間)  
・エコミュージアム見学 (総合的な学習の時間1時間)  
・スコアオリエンテーリング (社会1時間 体育1時間)  
・天体観測ナイトハイク (理科2時間)
- 21日 ・野外炊事 (家庭5時間)  
・大理石クラフト (特別活動2時間)  
・キャンドルの集い (総合的な学習の時間1時間 音楽1時間  
特別活動1時間)
- 22日 ・景清洞探検 (理科2時間)

### ② 王喜の竹を通じてのふれあい交流活動

- 6月29日 ・竹楽器アンクルン練習開始 (総合的な学習の時間1時間 音楽1時間)
- 10月12日 ・下関バンブーオーケストラ練習指導  
(総合的な学習1時間 音楽1時間)
- 10月19日 ・下関市小学校音楽祭に出演 楽器アンクルンを演奏 (音楽2時間)
- 10月28日 ・森林フェスタに山口バンブーオーケストラの一員として出演  
(社会1時間 音楽1時間 総合的な学習の時間3時間)
- 11月 3日 ・王喜地区文化祭に出演、アンクルンを演奏  
(総合的な学習の時間1時間 音楽1時間)
- 11月18日 ・学習発表会でアンクルンを演奏 (特別活動5時間)
- 1月29日 ・竹細工 (総合的な学習の時間2時間)
- 2月 4日 ・篠笛、アンクルン講習会 (総合的な学習の時間1時間 音楽1時間)

## 2 活動の実際

### ○ 事前指導

- ・ 参観日を利用して、保護者へ宿泊学習の説明会を実施。(趣旨, 日程, 準備物等)
- ・ 班編成, 分担決定, 宿泊のしおり作成。
- ・ 学級PTA活動で、野外炊事活動の練習として親子カレーライスづくりを実施。

### ○ 活動の展開

#### ① 集団宿泊学習（秋吉台少年自然の家）

- 1日目 ・ エコミュージアム見学  
総合的な学習の時間で環境について学習している一環として見学する。
- ・ スコアオリエンテーリング  
下関市立名池小学校と合同で活動し、大自然の中を走ったり歩いたりすることで、雄大な自然のよさに触れることができた。
- ・ 天体観測ナイトハイク



本校児童2名と名池小児童  
2名で班を構成する

- 2日目
- ・ 自由散策
  - ・ 野外炊事

下関市立名池小学校と同じ場所で、同じメニューの昼食を作る。それぞれが役割を分担して準備から後始末まで行う。



協力して野外炊飯

- ・ 大理石クラフト

秋吉台産の自然石である大理石を使って文鎮づくりをした。自然に触れるよい経験であった。

- ・ キャンドルの集い

下関市立名池小学校と合同で行い、お互いの出し物や一緒にゲームをすることにより、交流を深めた。一緒に活動してもらったお礼も込めて、竹楽器アンクルンで「世界に一つだけの花」を演奏した。



名池小児童の前で竹楽器アンクルンを演奏する

- 3日目
- ・ 奉仕作業
  - ・ 景清洞探検

## ② 王喜の竹を通じてのふれあい交流活動

- ・ 森林づくりフェスタへのアンクルン演奏出演

10月28日に山口県宇部市常盤湖水ホールで行われた森林づくりフェスタに「やまぐちバンブーオーケストラ」の一員として参加した。

- ・ 下関市小学校音楽祭へのアンクルン演奏出演

10月19日に行われた下関市小学校音楽祭に参加した。

- ・ 「かぐや姫の里」の地域の方々との竹細工集会

7名の方が指導され、一輪ざしを製作した。

### ○ 事後指導

- ・ 宿泊学習を振り返り、学んだことや感想を作文に書いた。
- ・ お世話になった秋吉台少年自然の家にお礼の手紙を書いた。(代表)
- ・ 11月18日の学習発表会で、環境問題に着目した劇を披露した。



森林づくりフェスタで演奏



下関市小学校音楽祭で演奏

## 3 体験活動の実施体制

### ○ 学校支援委員会

学校評議員3名、PTA会長、地域団体「かぐや姫の里」代表、校長、教頭、教務主任で構成。

### ○ 配慮事項等

宿泊学習の実施では、教務主任が宿泊施設と他入所学校との連絡・調整を行う。PTA会長の協力で、PTA学年活動で宿泊実施前に調理実習を実施する。

竹細工や竹の楽器の演奏については、地域団体「かぐや姫の里」代表や地域のバンブーオーケストラの指揮者に指導、協力をしていただく。

#### 4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

宿泊学習の実施では、入所前に教務主任が宿泊施設と他入所学校との連絡・調整を行い、さらに引率者が期間中児童の活動についての役割分担や意見交換を行ったので、児童の活動の様子が詳しく観察・評価でき、次への指導へとつなげることができた。実施後は、宿泊学習を振り返り、学んだことや感想を作文に書かせることにより、児童の成長の様子が把握できた。

竹楽器演奏や竹細工の活動では、グループでの活動や練習の様子を観察することにより、児童の意欲や態度についての評価ができた。また、指導者への感謝の気持ちや地域を愛する気持ちもわかることができた。

#### 5 活動の成果と課題

##### ○ 成果

同じ下関市内の名池小学校と3日間生活を共にすることができたことにより、様々な交流活動を仕組むことができた。オリエンテーリングでは、両校の児童が2人ずつで4人組を作りポイントを探しまわった。野外炊事や大理石クラフトも、同じ場で指導を受け一緒に活動した。キャンドルの集いでも、一つのキャンドルを囲み、ゲームを楽しみ、スタンプの交歓をした。本校の子どもたちも、練習してきた竹楽器アンクルンの演奏を披露することができた。3日間をほぼ同じプログラムで活動できたことにより、実り多い交流が行えた。

「1学期で一番の思い出は、みんなと楽しく宿泊学習に行ったことです。5年生だけでとまったり、みんなでご飯をつくったり、お風呂に入ったり、助け合ったり、手伝ったりしました。私にとってはそれが1番の思い出です。自立・奉仕・協力の3つの約束を守りながら生活した3日間。泣いたり、傷ついたり、笑ったり、おこったり、みんなのいいところがいっぱい見つけられました。私は、けんかするのもいい経験だと思いました。どうしたら仲よくなれるのか、どうしてこんなことになったのか考えるので、けんかはいい勉強になったと思いました。」(児童作文)

森林づくりフェスタへのアンクルン演奏出演では、5・6年生がアンクルンの演奏を披露するとともに、そこで催される様々なイベントに関わりながら多くの人たちと交流できた。また、下関市小学校音楽祭では、昨年も一昨年もアンクルンの演奏を披露したが、初めて聴く新鮮な音色に、他の学校の子どもたちも興味をもったに違いない。ふるさと王喜を誇りに思う気持ちを育てる大切な機会となった。

##### ○ 課題

来年度は、3泊4日の宿泊学習を計画している。活動内容を増やすのではなく、子どもたちに自然の中での体験活動をゆったりとした時間の中で過ごさせながら所期のねらいを達成していくことを考えたい。

王喜の竹を通じての活動を通して子どもの変容をどうとらえるか、どう評価するか、さらに、今後へどうつなげていくべきかを考えておくことは、『学校の伝統』として生かしていく上で大切な課題である。